

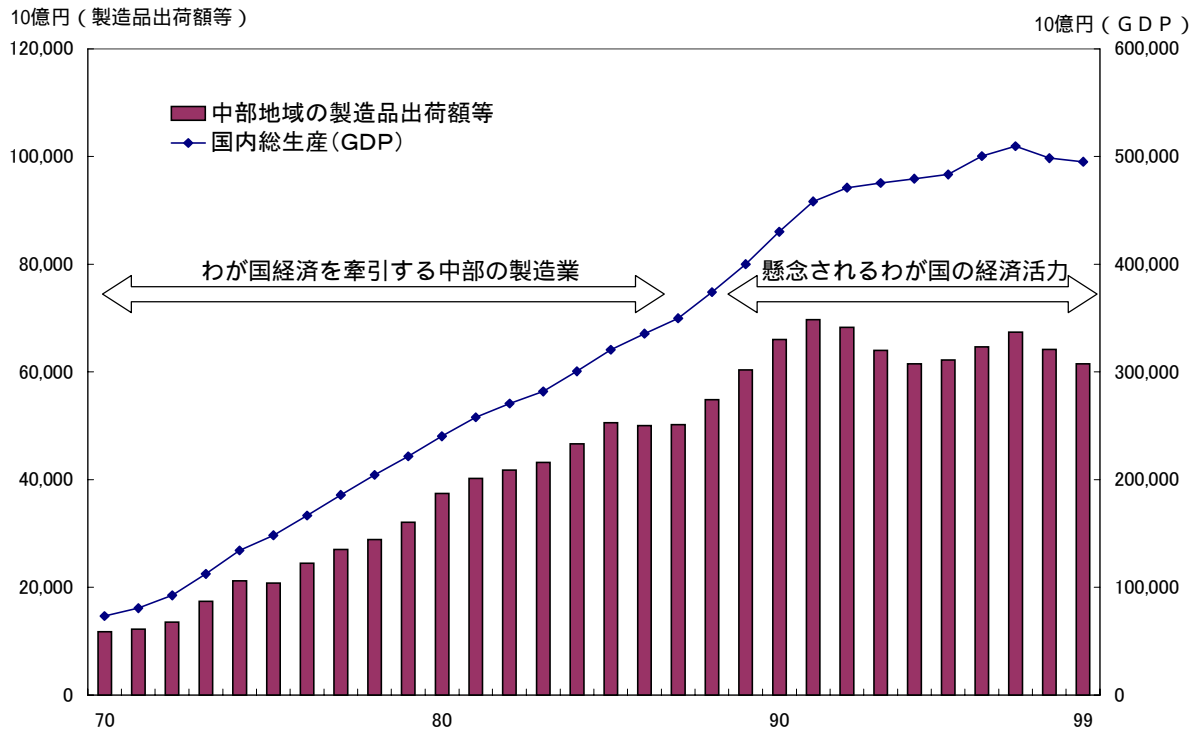
# 産業・国際競争力

中部地域は、モノづくりの拠点として、日本経済の国際的な産業競争力の源泉となってきました。しかし、近年その競争力は国際社会において低下する傾向にあります。

中部地域においては、昨年（2001年）の名古屋港の貿易額が1位になるなど日本の産業を支えている反面、ものづくり産業の空洞化が懸念される状況となっています。

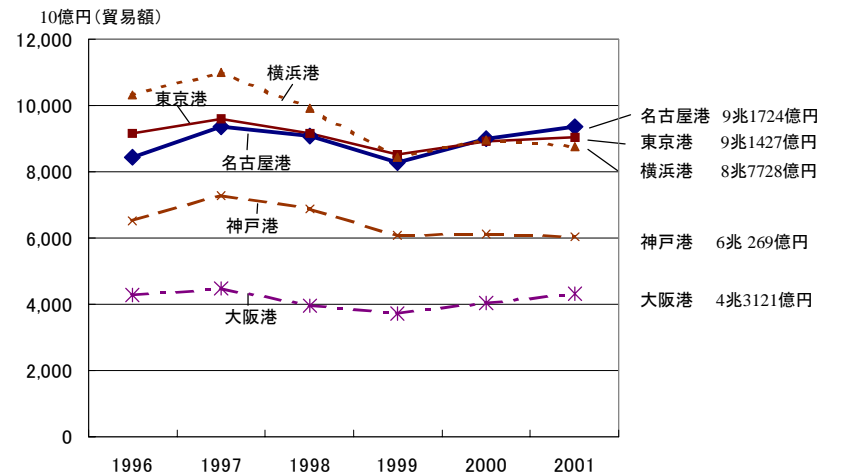
## 日本経済を支えてきた中部の製造業

【中部地域の製造品出荷額等と国内総生産（GDP）の推移】



注) 中部地域：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県  
資料) 経済産業省「工業統計表」総務省「国民経済計算年報」

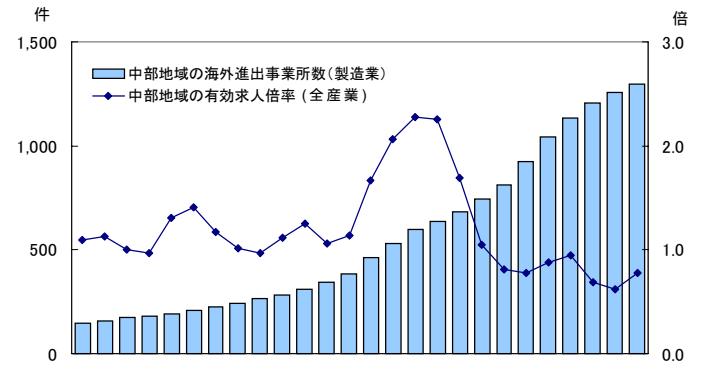
【五大港貿易額の推移】



資料) 日本関税協会「貿易統計」。

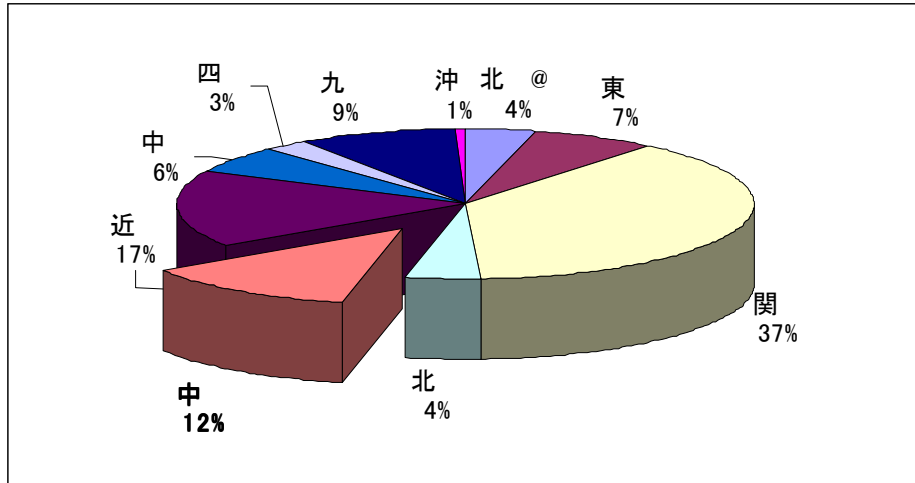
## 懸念される中部の産業空洞化

【中部地域の海外進出事業所数（製造業）と有効求人倍率の推移】

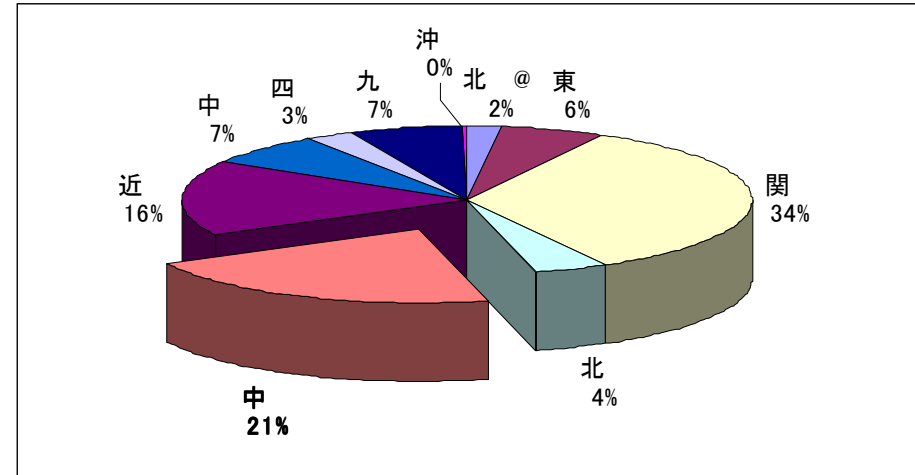


注) 中部地域：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県  
資料) 東洋経済「海外進出総覧」、各県労働局資料

国内総生産（GDP）で我が国の12%  
【平成10年度国内総生産】



● 製造品出荷額では21%を占め、ものづくりが盛んな地域  
【平成10年度製造品出荷額】



【ブロック機関別人口比率（平成12年度）】

